

平成27年度千葉県と連携大学との研究成果発表会

湾岸都市の生物多様性

『湾岸都市の生物多様性』をテーマに、千葉県と連携協定を締結している6大学の生物多様性保全に関する研究成果を、口頭及びポスター形式で発表します。また、東京湾に面する地方自治体として、船橋市と市川市の生物多様性保全の取組の現状についても紹介します。そして、これまでの成果から生物多様性の保全や活用に関する課題や今後の方向性について議論します。ぜひご来聴ください。

日時:平成27年11月22日(日)

13:00~16:45

場所:東邦大学習志野キャンパス 理学部V号館
(船橋市三山2-2-1)

定員:先着100名・参加無料

主催 千葉県

お問い合わせ先 千葉県生物多様性センター 043-265-3601

プログラム

13:00	開会	
13:00~13:10	挨拶	熊谷宏尚（千葉県生物多様性センター） 河野博（東京海洋大学）
13:10	口頭発表	
13:10~13:30		『生物多様性地域戦略策定に向けて』 関真人（船橋市環境部環境政策課）
13:30~13:50		『生物多様性モニタリングシステムの取り組みと今後について』 小池智之（市川市環境部自然環境課）
13:50~14:10		『東京湾岸の生物地理情報』 村田明久（千葉県生物多様性センター）
14:10~14:30		『利根川水系におけるニホンウナギの行動生態』 木村伸吾（東京大学大学院）・板倉光（大気海洋研究所）
14:30~14:40	休憩	
14:40~15:10	各ポスターの代表者より説明	
15:10~16:10	ポスター発表	『ソーラーパネルが地域環境と生物多様性に与える影響について』 小澤彩香（江戸川大学）・吉永明弘（江戸川大学） 『アマモのある水域とない水域における魚類相の違い』 菅原将太（東京海洋大学）・梶山誠・島田裕至（千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所）・河野博（東京海洋大学） 『生命のにぎわい調査団の調査結果からみた千葉県の干潟の特性』 中村光一・鈴木裕也・原田一平・原慶太郎（東京情報大学） 『希少ランの保全技術開発—キンラン類の事例から』 塩見直希・奈良一秀（東京大学大学院） 『春季のシラカシ当年葉における内生菌群集』 森永健太・福田健二（東京大学大学院） 『千葉県柏市における野生中型哺乳類の生態』 小南優・鈴木牧（東京大学大学院） 『豊島島におけるクロムヨウランの生理生態』 ミルイン・奈良秀一（東京大学大学院） 『千葉県野田市におけるコウノトリ餌動物量の定量評価』 桑原里奈（東邦大学） 『印旛沼流域における特定外来生物ナガエツルノゲイトウの分布拡大-揚水機場を通じた河川から水田そして再び河川への拡散過程-』 鈴木広美（東邦大学） 『伊豆諸島-東京湾海域におけるオオミズナギドリ分布と密度-島陰効果と沿岸湧昇の効果の評価する-』 寺内一美（東邦大学）
16:10~16:20	休憩	
16:20~16:45	総合討論	
16:45	閉会	

東邦大学習志野キャンパスの交通案内

【JR線+バス】

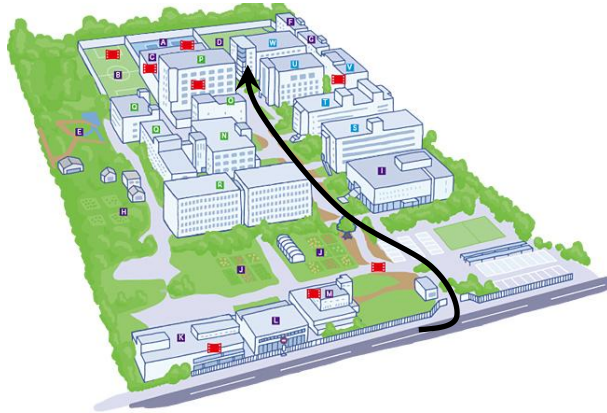
- 総武線津田沼駅下車
- 北口バスターミナル④番で京成バスに乗車
「三山車庫」・「二宮神社」方面行き、「東邦大学前」下車（約10分）
- ※ お帰りの際の津田沼駅へは「東邦大学前」からの運行本数が少ないため、「大久保十字路」バス停から「津田沼駅」行きのバスのご利用が便利です。

【京成線】

- 京成本線（上野・日暮里駅から佐倉・成田空港方面行き）京成大久保駅下車
- 駅から商店街を徒歩約10分

【お車で越しの方】

- キャンパス内の駐車場は利用できません。
- 会場周辺にはコインパーキングがありますが、数が限られているため、公共交通機関をご利用いただくことをおすすめします。



A テニスコート	H メディカル ハーブガーデン	薬学部
B サッカー・ ラグビー場	I 習志野メディアセンター (図書館・マルチメディアスタジオ)	N 薬学部A館
C スポーツアリーナ (体育館)	J 常用植物見本園(茶草園)	O 薬学部B館
D 2階エントランス	K 学生食堂(PAL)	P 薬学部C館
E 野球場	L 学生テラウジ	Q 薬学部E館
F 薬学部1号館	M 東邦会館 (キャリアセンター・ マルチメディアラウンジ)	R 新校舎(2016年竣工)
G 薬学部2号館		理学部
		S 理学部I号館
		T 理学部II号館
		U 理学部III号館
		V 理学部IV号館
		W 理学部V号館